

有力FX企業16社の月間データランキング-2017年3月-

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業16社^{*1}のアンケート調査を実施した。(有力FX企業月間ランキング-2017年1月より、調査対象企業が1社減少したため2016年12月に遡り、各データを再集計し、更新した)

1. 調査期間:2017年4月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた16社を対象とした。
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が16社にならないものもある。
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2017年3月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位は外為どっとコム

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年3月末の有力FX企業15社^{*1}の預かり残高の合計は、8,143億円であった。3月は本調査対象企業15社中10社(その他企業2社含む)で預かり残高が増加し、前月比34億円増(0.42%増)となった。

◆ 企業単体集計の2017年3月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年3月末の有力FX企業16社^{*1}の口座数の合計は、426万口座であった。3月は前月比4.0万口座増(0.95%増)となった。本調査対象企業16社中15社(その他企業2社含む)で口座数が増加した。

◆ 2017年3月の取引高の第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

2017年3月の月間取引高は、有力FX企業12社^{*1}の合計で245兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。3月は前月比7.0兆円減(2.78%減)であった。本調査対象企業12社中5社(その他企業2社含む)で取引高が増加した。

(*1. 集計対象は、預かり残高15社、口座数16社、取引高12社、いずれも無回答を除く。)

(*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

★**ご注意:**本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

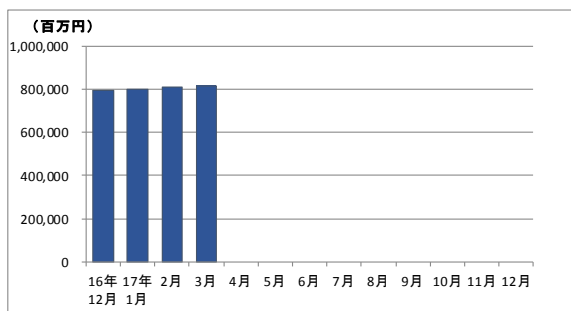
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

プレスリリース

【 預かり残高 】

- 企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,224億円、第2位の外為どっとコムは1,118億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(1,713億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,384億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はヒロセ通商(3.96%増)。次いでGMOクリック証券(1.44%増)であった。

図表 1. 預かり残高推移と3月月間ランキング



(単位: 百万円、%)

預かり残高順位	社名	2017年2月	2017年3月	増減額	前月比	増加率順位
1	SBIグループ	173,617	171,373	▲ 2,244	▲ 1.29	
2	GMOクリック証券	120,687	122,430	▲ 1,743	▲ 1.44	2
3	外為どっとコム	111,264	111,802	538	0.48	
4	DMM.com証券	99,630	100,619	989	0.99	3
5	ワイジェイFX	93,606	94,454	848	0.91	5
6	セントラル短資FX	61,284	61,605	321	0.52	7
7	マネーパートナーズ	60,814	60,325	▲ 489	▲ 0.80	
8	ヒロセ通商	38,708	40,242	1,534	3.96	1
9	FXプライムbyGMO	15,830	15,971	141	0.89	6
10	トレイダーズ証券	12,172	12,284	112	0.92	4
11	上田ハロー	11,422	11,362	▲ 60	▲ 0.53	
	その他(2社)	11,867	11,878	11	0.09	
	合計	810,901	814,345	3,444	0.42	

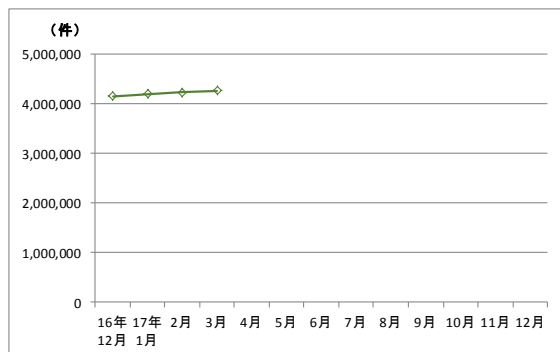
注1. 集計対象は無回答1社を除く15社の合計値。その他には2社含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 口座数 】

- 企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で57.3万口座、第2位のGMOクリック証券は47.8万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(90.5万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(64.9万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はSBIグループ(1.66%増)。次いでDMM.com証券(1.41%増)であった。

図表 2. 口座数推移と3月月間ランキング



(単位: 件、%)

口座数順位	社名	2017年2月	2017年3月	増減数	前月比	増加率順位
1	SBIグループ	890,768	905,585	14,817	1.66	1
2	DMM.com証券	565,712	573,670	7,958	1.41	2
3	GMOクリック証券	474,043	478,009	3,966	0.84	4
4	外為どっとコム	440,687	442,687	2,000	0.45	8
5	ワイジェイFX	326,752	329,489	2,737	0.84	4
6	マネーパートナーズ	294,472	296,861	2,389	0.81	6
7	トレイダーズ証券	285,157	287,083	1,926	0.68	7
8	マネックス証券	234,755	235,137	382	0.16	11
9	ヒロセ通商	200,023	201,996	1,973	0.99	3
10	FXプライムbyGMO	171,255	171,804	549	0.32	9
11	セントラル短資FX	164,972	165,329	357	0.22	10
12	上田ハロー	53,000	52,992	▲ 8	▲ 0.02	
	その他(2社)	127,857	128,984	1,127	0.88	
	合計	4,229,453	4,269,626	40,173	0.95	

注2. 集計対象は16社の合計値。その他には2社含まれる。

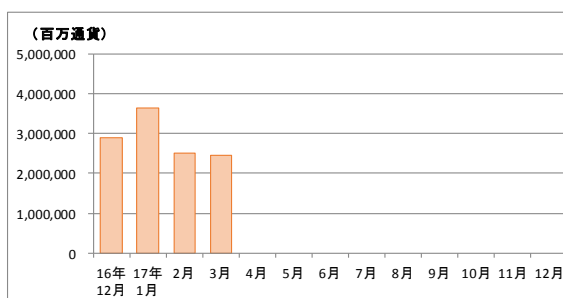
注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 取引高 】

- 月間取引高ランキングの第1位はGMOクリック証券で80.2兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はDMM.com証券で61.6兆円(同)であった。

図表 3. 月間取引高推移と3月月間ランキング



(単位: 百万通貨、%)

取引高順位	社名	2017年2月	2017年3月	増減額	前月比	増加率順位
1	GMOクリック証券	866,730	802,952	▲ 63,778	▲ 7.36	
2	DMM.com証券	644,895	616,693	▲ 28,202	▲ 4.37	
3	ヒロセ通商	285,971	301,022	15,051	5.26	1
4	ワイジェイFX	240,468	249,539	9,071	3.77	2
5	外為どっとコム	209,203	211,606	2,403	1.15	3
6	FXプライムbyGMO	86,635	81,664	▲ 4,971	▲ 5.74	
7	マネーパートナーズ	77,214	75,386	▲ 1,828	▲ 2.37	
8	マネックス証券	31,169	23,912	▲ 7,257	▲ 23.28	
	その他(4社)	80,990	90,379	9,389	11.59	
	合計	2,523,275	2,453,153	▲ 70,122	▲ 2.78	

注4. 集計対象は無回答4社を除く12社の合計値。その他には4社含まれる。

注5. FXプライム by GMO はカバーをしている同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はホリトラベルを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。

矢野経済研究所調べ